

～危険物の取扱いに注意しましょう!!～

夏を迎え、ガスコンロや発電機を用いて、納涼祭やバーベキューをされる機会があると思います。また、奉仕作業等で刈払い機を使用しての草刈り作業も予定されているのではないのでしょうか。これらの機器の燃料はLPガスやガソリンであり、取扱いを間違えると、けがをしたり、火災に至るケースがあります。次の事項に注意いただき、安全な取扱いをお願いします。

ガソリンの取扱い

- 携行缶の保管は火気のない換気のよい安全な場所で行う。
- 給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行う。
- 給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけない。
- エア調整ネジを緩め、缶内の圧力を下げてからキャップを開ける。



LPガスカセットボンベ等の取扱い

- カセットボンベは炎天下などの高温になるような場所に置かない。
- カセットコンロを2台以上並べて使用しない。
- カセットコンロで炭の火をおこさない。



資料提供:独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite)

LPガス容器の取扱い

- 火気から2m以上離し、転倒防止を行う。
- 常に温度40℃以下に保つようにする。(火気からの離隔距離を十分にとり、日光の直射を避ける。)
- 風通し、換気の良い場所に設置する。



もしもの時の応急手当 ～知っておこう ハチ刺されの応急手当～

夏になると、海や山などアウトドアを楽しむ方が多いのではないのでしょうか。同じようにハチなどの虫たちも活発に活動する時期です。また、ハチの巣が最も発達し、ハチの数が多くなる時期ですので刺される可能性も高まります。そこで今回は、ハチに刺された時の応急手当を紹介します。

刺された時の症状

- ①主な症状は痛みです。
- ②その後、刺された部分が赤く腫れてきます。
- ③アレルギーがある場合、じんま疹、吐き気、下痢、血圧低下、呼吸困難、意識障害などのショック症状を起こし、最悪死に至ることもあります。

刺された時の応急手当

- ・刺された場所から速やかに離れ、患部の周囲を強くつまんで、毒液は水に溶けやすいのできれいな水でよく洗う。
- ・初期症状として、発疹、涙が止まらない、咳、嘔吐、下痢等の症状が見られる場合は一刻も早く病院を受診する。
- ・目はうつろ、表情はぼんやり、唇は紫色、冷汗、皮膚は蒼白、呼吸が浅く速い症状があれば、「ショック状態」と判断し、足を15cm～30cm高くして寝かせる足側高位(ショック体位)をとらせませす。

足側高位(ショック体位)



蜂に刺されないために

- ・黒い服や花柄の着衣は避け、白っぽい服装で露出を少なくする。
- ・蜂は動くものを攻撃するので、すぐに逃げないで静止し、蜂が巣に戻った後静かに後退する。
- ・花の香りに似た匂いに反応するので、香水、整髪料等の使用時は注意する。

少しでもおかしいと思われたら医療機関を受診するか救急車を要請しましょう!!